



27.7.2
杉並区広報課

地方創生・交流自治体連携フォーラム開催のご案内

7月11日、杉並区と交流関係にある自治体が集まり、都市と地方が連携し、ともに輝く地方創生を実現するため、北海道名寄市で「地方創生・交流自治体連携フォーラム」を開催します。

杉並区はこれまで、国内10自治体などと教育、スポーツ、文化、芸術など様々な分野で交流事業などを行ってきましたが、昨年度、南伊豆町との連携による特養の整備の取組などを踏まえ、従来の交流事業の枠を超えた「新たな広域連携」の可能性について調査・研究を開始しました。

そうした中、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、少子高齢化の急速な進展への対応・人口減少の克服のため、各自治体に「地方版総合戦略」の策定を求めています。

地方創生については、都市と地方の二項対立として捉える風潮がありますが、人口減少に歯止めをかけ、活力ある日本社会を維持していくためには、都市と地方がWIN-WINの関係になる取組が不可欠であると考えています。

こうした認識のもと、「新たな広域連携」の取組を、地方創生に向けた自治体連携の取組に発展させ、都市と地方の共存共栄を図るための自治体連携の協議の場として「地方創生・交流自治体連携フォーラム」を7月11日に北海道名寄市で開催します。

フォーラムでは、自治体連携による特別養護老人ホームの共同整備や、元気な高齢者等が一定期間、地方での生活を経験する「お試し移住」事業などの取組を発表し、具体化に向けての課題の解決策や都市と地方がともに活性化できる新たな連携事業の可能性などについて協議を行います。

協議を踏まえ、実施可能な事業は、それぞれの自治体で策定する地方版総合戦略に反映させていく予定です。

1 開催日・場所

○日 時 平成27年7月11日(土) 午前9時30分～11時30分

○場 所 グランドホテル藤花(北海道名寄市)

2 連携フォーラム出席者

名寄市長 加藤 剛士、北塩原村長 小椋 敏一、南相馬市長 桜井 勝延

東吾妻町長 中澤 恒喜、青梅市長 竹内 俊夫、小千谷市長 大塚 昇一

南伊豆町長 梅本 和熙、杉並区長 田中 良(幹事)

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部総括官 山崎 史郎

東京大学名誉教授 大森 彌

北海道知事(代理)北海道総合政策部長 窪田 毅